



府中国際交流サロン  
FUCHU INTERNATIONAL SALON

# くろするろ〜ど

がつごう  
2018/11月号

かいほうし  
会報誌

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

げっかん がつ  
〜サロン月間カレンダー11月〜



つど ほうこく  
「バーベキューの集い報告」

## ■文化交流活動

がつこのか (きん) 午前10時30分〜12時

「ダンス教室」15名・無料

場所：サロン託児室

11月16日 (きん) 午前10時30分〜12時

「歌を楽しむ」20名・無料

場所：第2会議室・締切り 11/15

11月30日 (きん) 午前10時30分〜12時

「生け花教室」15名・花代500円

場所：サロン第1会議室・締切り 11/29

以上の対象はサロン学習者とボランティアの方。

★申し込みと詳しいことはサロン事務局まで。

## ■「第5回スキルアップ講習会」

11月10日 (土) 午後2時〜4時

場所：サロン第2会議室 (学習会の部屋)

テーマ：「日本語が初めての人への教え方」

～教案作りと発表～

グループごとに教える項目を決め教案にまとめ、それに沿ってそれぞれ7分間の模擬授業を行います。

講師：柏崎雅世先生

対象：サロン・ボランティア (学習者も参加可)

★申し込みと詳しいことはサロン事務局まで。

## げつようごご おか さとこ 月曜午後ボランティア 岡 智子

10月20日土曜日 いつものお教室から飛び出し、秋空の下、多摩川の河川敷にてBBQの集いが行われました。

当日はお天気に恵まれ、抜けるような青空、まさにBBQ日和となりました。総勢66人 (子供9人) と、とても賑やかな集いでした。

私が会場に到着した時には、既に6台のコンロがフル回転、煙がもうもうと立ち込め、たくさんの肉、野菜が次々と焼かれていました。焼きそばソースの香ばしい匂いに包まれながら、何から食べようか迷いました。ワインやお菓子など様々な差し入れもあり、心もお腹も満たされました。

学習者さんボランティアさん共に初めてお会いする方が多く、すぐに打ち解け話に花が咲きました。新しい仲間がたくさん出来ました。

子供同士もイラストやお手紙の交換、記念撮影などの交流をしていました。サロンの未来に希望が持てますね。

参加者皆さんが率先して、焼いたり、炭を足したり、片付けなどお手伝いをしていました。

片付けをしている私に手を貸してくれた学習者の方々は、とても日本に慣れているように見受けました。数人に伺ってみると、日本に来てまだ間もないとのこと。とても驚きました。

もし私が見知らぬ国の慣れない場所に行ったりして、果たして同じようにお手伝い出来るだろう

かと想像して、学習者の方々の勇気と行動力に心から敬服しました。

そして、たとえ初対面でも、阿吽の呼吸で共同作業ができるサロンは素晴らしいと思いました。前日からの買い出しや準備、また当日は朝早くからの場所取りやレンタカーの手配、行き帰りの荷物の運搬など、縁の下の力持ちの皆様にも感謝申し上げます。

今回、都合や体調などで参加できなかった方も、来年はぜひ、一緒に楽しみましょう！



秋空の下、バーベキューを楽しむ学習者(上・下)

# 世界の文化

## 「アイルランドトロフィー」

府中牝馬ステークス観戦感想

徐霞 (中国)

10月13日に府中市役所からのご招待をいただき、東京競馬場でアイルランドトロフィー府中牝馬ステークスを観戦できまして、とても光栄でした。

今まで東京競馬場に何回も足を運びましたが、フジビュースタンド来賓室での観戦は初めてです。8階からコースの全貌を見渡すことができますので、素晴らしい眺めです。こんな良い場所にいるから、もちろん馬券を買おうと思いました。でもマークカードの記入の仕方が全く分からなくて困りました。周りの皆さんから丁寧に教えてもらって、無事に初めて購入出来ました。購入したメインである11レースが始まると、ワクワクしながら、とても緊張でした。初めて購入した馬券はあたったようで、とても嬉しかったです。

なお、あたった事より、同行のサロンの先生と生徒さんたちと交流できた事と競馬文化が勉強できた事が一番嬉しかったです。普段のサロンの勉強と異なり、皆さんで円卓を囲みながら、フリートークで自分が自由に発言したり、いろいろ日本のことと日本語の表現を勉強出来ました。とても満足でした。教科書の勉強より、このような方が聞く力と話す力の向上が速いと思います。

改めて、市役所からのご招待ありがとうございました。とても良い体験が出来ました。サロンの先生と生徒さんたちもお疲れ様でした。いろいろ教えていただき、ありがとうございました。



## 「防災訓練を体験して」

ソグノヴィ コシイ (ベナン)

皆様、こんにちは。

9月28日(金)サロンで防災訓練を行いました。それを参加することになりました。

私は西アフリカのベナンという国から日本にきました。ベナンでは全く地震起こることがありませんが日本では地震起こりやすい国でした。日本で生活するのを、短い期間か長い期間か分かりませんが、地震が発生した場合は、どうするのか、自分の安全はどうすればまもれるかが大切だと思いました。

いつ地震が発生するのは誰でも予想することが出来ませんから、訓練に参加するのは重要と思えました。留学生の皆様、まだ参加していないの方はぜひお参加して下さいますように!!! どうか役に立つ経験になるかもしれません。お元気で。コシイより。

私のふるさと ~7~

## 「本郷も、かねやす迄は江戸のうち」

金曜午後ボランティア 荒木順子

私の故郷、文京区本郷には時代小説にお馴染みの地名がたくさん出てきます。現在は住居表示変更で無くなってしまっているのは寂しいのですが本郷、弓町、菊坂、肴町、真砂町等々。

多くの文豪のかかわりも深く、家の近くにも石川啄木が下宿していた泰明館や樋口一葉が通った伊勢屋質店(私の小・中学校の同級生)がありました。家から歩いて五分ほどで東大正門前に、昭和の後半までは農学部前から正門、赤門にかけて医学書の専門店や古本屋が並び、少し奥まったところには銭湯があったり……風情がありました。

先年、久しぶりに本郷三丁目(古くから「本郷も、かねやす迄は江戸のうち」と言われた。)から菊坂、台町、白山へと歩いたのですが、子供のころの目線や体感では東大安田講堂前のイチョウ並木のトンネル

ももっと大きく高かったように感じ、毎日通った小学校までの道ももっと広く時間もかかったように記憶していたはずなのに! ちょっと不思議な感覚体験をしました。文京区本郷を中心に紹介するとたくさん在り過ぎて迷ってしまいます。かねやすを始め三原堂のどら焼き、藤村の羊羹、ルオーのカレー、本郷通りに並ぶ医療器具店。お茶の水周辺は学校や意外にも楽器店も多く、神保町にかけては古書店を覗くのも面白いでしょう。根津から上野方面は、街歩きのパフレットにも載っていますので初冬の一日歩いてみるのは如何でしょうか。



東大赤門

## 「第4回スキルアップ講習会報告」

水曜ボランティア 市村秀子

近年、新宿に行くと「ここは、どこの国?」と思うくらい多くの外国人に遭遇する。テレビのニュースでは介護施設で働く外国人の様子が報道されている。訪日外国人2500万人、在留外国人256万人、これが昨年2017年のデータである。

10月13日、第4回スキルアップ講習会「あなた知ってる?」というテーマで、外国人の「在留資格」について、生活情報支援部会による講習会が行われた。

そもそも「在留資格」とは何か? サロンで勉強

# べん きょう かい ほう こく 勉強会報告

～第91回～

## 「日常会話で飛び交う敬語

### をかんがえよう！」

けんしゅうぶかい かよう ゆみ こ  
研修部会 萱生由美子

している外国人も、仕事や留学で来日した人、その家族、日本人と結婚した人など、いろいろな理由で日本に住んでいる。様々な目的で特定期間日本に住む資格が「在留資格」である。現在28種類の「在留資格」がある。その中には、短期滞在の観光客や永住者も含まれている。

では、外国人労働者の実態はどうなっているのだろうか？ 就労が可能な「在留資格」は18種類だ。ここには単純労働は含まれていない。一方、違法な労働条件下で働いている技能実習生の問題も指摘されている。本来、技能実習生制度は、日本で習得した技能を本国で活用するという目的で作られた。もちろん、本来の目的を実践している企業もあるだろうが、そうでない企業もあるのが実態だ。また、家族の帯同ができないなど、現実に即していない問題も存在している。

コンビニでは多くの外国人が働いているが、その多くはアジアからの留学生である。留学生は就労の資格はないが、週28時間以内という条件で就労が許可されている。

その他、日本で働く外国人は、例え不法滞在であっても労働基準法が適用され、また、国民健康保険、年金、出産（母子手帳）、教育なども日本人と同様のものもあるなどと、盛りだくさんの内容だった。

今、政府は少子高齢化や深刻な人手不足を背景に、外国人労働者の受け入れ政策を転換しようとしている。どういう形で転換されるのかも注視していきたい。

いろいろ知らないこともたくさんあった。外国人がいる風景が当たり前になった今、彼らが抱える問題は何か、私たちは隣人としてどのように付き合っていくのか、彼らを取り巻く制度を知る有意義な講習会だった。第2弾を期待している。



10月17日の勉強会には4名の学習者を含む14名が参加しました。

敬語は、初級のどの教科書でも一番最後に出てくる学習項目です。日本人でも正確に使いこなすのは難しく、外国人学習者にとっては尚更のことです。しかし、日常生活には敬語があふれています。そこで、まず、日常のどんな場面で敬語が使われているのか、そして、そこで話される敬語はどんなものなのかを二つのグループで話し合い、それぞれリストアップしてみました。発表された場面と敬語表現は以下のとおりです。

病院 : 「どうなさいましたか。」

スーパー : 「いらっしゃいませ。」「ポイントカードをお持ちですか。」

デパート : 「何をお探しですか。」「少々お待ち下さい。」「ご試着なさいませか。」「お支払いはどうなさいませか。」「召し上がって下さい。」（食品試食の際）

市役所 : 「お名前、ご住所をお書きください。」

駅 : 「大変お待たせしました。申し訳ございません。」「特急列車がまいります。黄色い線まで下がってお待ちください。」「お急ぎのところご迷惑をおかけします。」

会社 : 「お席にいらっしゃいますか。」

いずれもよく耳にする表現ばかりです。  
次に、どのように教えたらいいのかを話し合い、  
三つにまとめました。

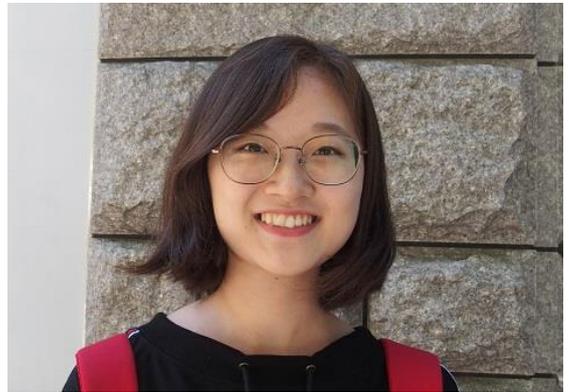
- ◇ 敬語表現を普通の言い方に直して伝える。  
例：どうなさいましたか→どうしましたか
- ◇ よく話される敬語表現は、専門用語（尊敬語、謙譲語など）を使わずに説明し、表現（決まった言い方）として覚えてもらう。
- ◇ 敬語は、先生、親、会社の上司、年上の人、初めてあった人の場合に使う（年下の人や友達には普通の言い方をする）。

今回は4人の学習者が参加してくれたので、貴重な実体験を聞くことが出来ました。  
孟飛さん、辺際さん、梁俊慧さん、岡林さん、ご参加ありがとうございました。



みな がくしゅうしゃしょうかい  
**皆さんよろしく◇学習者紹介**

ぎ きょく さん (中国)  
魏 鈺 さん (中国)



なつめ そうせき しょうせつ す  
**「夏目漱石の小説が好きです」**

中国吉林省吉林市から2018年4月東京外国語大学の研究生として来日しました。

中国の大学では日本近代文学を専攻し、特に夏目漱石を勉強しました。好きな小説は、『それから』『道草』などです。現在大学院修士課程に入学するために、学部の授業に参加しています。

大学で3年間日本語を勉強して、現在サロンの他、外大の留学センターで日本語の読解、政治、文章などを勉強しています。コンビニのアルバイトも、日本語の上達に役立っているようです。好きな日本語は「初心忘るべからず」「一期一会」などです。

趣味はお料理を作ることなので、中華料理が食べたくなれば自分で作っています。

周りからは明るい性格だと言われるのですが、自分では内向的な性格で、時として自分に自信が持たない気がするところがあるそうです。インタビューしてとても明るいお嬢さんだと私も感じました。

出来れば、日本で修士、博士号を取得して、中国の大学で教えることが夢ですとおっしゃっています。

(堤 林)

# とう ころ 投 ◆ 稿

## 「モンゴル再訪」 後編

きんようご さいほう こうへん  
金曜午後ボランティア 吉村まみ子

今回は強い雨と砂嵐を経験しました。雨はモンゴルにとって貴重なものです。雨上がりに草や木は歓喜の声を上げているように見えました。猛烈な風で砂が舞い上がり、目の前は何も見えません。私達はゲルに逃げ込みジッと3時間位待ちました。天井の部分がビニールのような物で出来ていて陽が差すと内側が明るくなります。その部分がパタパタと大きな音をたてます。このような強風に飛ばされないように土台をしっかりと止めてあるのでしょう。3時間位たつと、ピタッと砂嵐は止りました。砂丘はこのような砂嵐によって常に起伏が変わるのでしょう。

### ウランバートル市内のガンダン寺見学

日曜日のせいもあるが家族連れでこん雑していました。小さい頃から特大のお釈迦さまに馴じんでいるようです。ザイサンの丘からウランバートル市内が見渡せます。高層マンション、オフィスビルが林立しています。必然的に市内集中化が進んでいます。ビル、会社、レストランなどロシア語の表示が多く英語はまだ少ないです。モンゴルは近々、英語教育を導入するとのことでした。

男性、女性共に前回よりおしゃれになりました。

10センチ位あるヒールの素敵な女性を見かけました。テレルジ、ウランバートル市内はトヨタの車が95パーセント、他の日本車が3パーセント、2パーセントが他の国の車かと思われました。テレルジはメインの道路だけが舗装してありますが、あとはどの車も砂ぼこりを上げながら走っています。市内だけを走らない限りきれいな車には乗ることが出来ません。

市内のホテルに宿泊、朝7時40分、ウランバートルの空港を飛び立ちました。Tさん、大草原、さようなら、又来れるようにと祈りながら別れを告げました。中国、韓国の上空を横断、日本海そして成田空港に無事到着しました。

モンゴルの砂漠から中国に入ると緑が少しずつ多くなり韓国、日本と目にやさしくなります。あき

ることなく自然のすばらしさを堪能しました。空港を出て車窓から見える日本の風景は温暖そのもの、私達は感謝をしなければと思った次第です。



草原に点在するゲル



## にほんご 日本語おちぼひろい

～53～

### 「11円スリッパの効果とは？」

きんようよる かわだ たいひろ  
金曜夜ボランティア 和田泰弘

「10円玉と1円玉をスリッパに貼るだけ」。

ある日、新聞広告でこんなコピーを目にしました。それに続く小見出しには、「耳鳴り、めまい、頻尿が大改善 脊柱管狭窄症、座骨神経痛の痛みが消えた」とあり、これは、世にいう健康雑誌の広告なものでした。11円で体の悩みから解放されるとあっては、誰も藁にすがる思いになることなのでしょう。でも、ふたつのコインの貼り方は、本を買わないとわからない仕組みになっているのが広告たる由縁です。

広告は、消費社会における販促活動の重要な要素の一つです。商品の本質に加え、人の心を掴むことばをいかに短い表現にまとめるか。美辞麗句を並べればいいというものではなく、コピーを編み出すの

は、ことばとの格闘とも言えます。コピーに思わず惹かれて買い物をしてしまったという経験は少なからず、誰にもあることでしょう。

私ごとですが、40年にわたり外国映画の宣伝の仕事に携わってきました。400本を超える担当作品の、1本、1本違う魅力をいかに伝えるか、今思うと、スリリングでもあり、身の細る思いもした日々の連続でした。昨年末、某テレビ局の番組プロデューサーから、「全米が泣いた！」という宣伝コピーのルーツを番組で取り上げたいという問い合わせがあり、取材を受けました。このコピー、実は私が担当した『ジョーイ』という作品で使ったものです。白血病に罹り余命幾ばくもない少年ジョーイと、アメリカンフットボール選手の兄との実話にもとづく兄弟愛を描いた内容で、1974年に日本公開し観客の涙を絞って大ヒットしました。当時の効果的な宣伝広告媒体は活字からテレビへと移行していた時期で、15秒スポットという短い時間のなかで最も効果的な表現は何かを考え尽くし、生まれたコピーが、「全米が泣いた！」でした。

気になるコピーについての反応してしまうのは、宣伝を仕事にしてきた者の悲しい性です。11円スリッパのからくりを知りたくて本屋に足を運んだのは言うまでもありません。

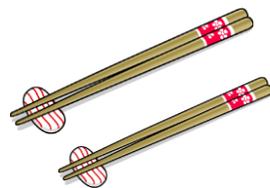


## わたし 私の☆つぶやき

### 「お・は・し」

チャン ティ ティー (ベトナム)

私は初めて、伊勢丹に買い物しました。ベトナム人の友達の結婚式の土産です。私にとって出来るだけ「日本の伝統的なものは一番いいかな」と思いました。伊勢丹をぐるっと回って見て、やっぱお箸が一番



良いでした。二つの選択があって、元々のセットを買うか、バラで買って纏めるか、凄く迷った。結局、二膳お箸を買って、纏めた。もう一人の友達にお願いして、彼ら達のお土産を預かってくれました。彼らの手元に入って、すぐ私は彼らのメール「お土産は凄くって、本当にありがとうございます」と一枚写真を貰いました。「良かったな」と思った私ですが、写真を見て、でも～「何か変」ときづいた。

この後一週間、彼ら達の先生に会って「先生、何でソンさんとタオさんのお箸の長さが違うのですか？私が選んだ時には同じ長さだったのに、何で箱に入ってタオさんのお箸は短くなった？」と聞きました。先生は凄く笑って、説明してくれた。「多分ティーちゃんはお店の人に結婚用のお土産と言ったから、長さを変えたよ。日本には、花婿と花嫁のサイズが全然違う、お箸なら花嫁の方が短い、洋服なら花婿の方が大きだよ。それは日本の伝統的な事です。」。「そうですか、私ずっと心配した。何か違うと思ったけどやっぱ、それは日本の伝統的な事か。もう理解したよ、先生。」。

## 「2018年度サロンの集いのお知らせ」

「サロンの集い」は学習者の皆さんとボランティアの先生、そして市民や市職員が参加して交流を深めるパーティです。お国自慢の料理を味わったり、歌や踊りも楽しめます。

日時：12月7日（金）午後6時30分～8時30分

場所：パルトホール（ル・シーニュ5階）

参加費：大人（中学生以上）1200円

小学生600円 乳幼児無料

定員：200名（市民を含む）

募集：11月2日（金）～21日（水）

申し込みをしてチケットを買ってください。

（定員になり次第締め切り）

\*詳しいことはサロン事務局でお聞きください。

（企画部）

## 「増田さん、ありがとうございました。」

長年にわたり府中国際交流サロンのホームページを制作し支えてくださった増田誠一さんが、この10月をもって引退されることになりました。増田さんとサロンのつき合いは、篠塚さん、坂倉さんが「くるすろーど」の編集に携わっていた頃から、足かけ10年近くになります。その間、いろいろなアイデアと技術でホームページの内容を刷新、充実してくださいました。増田さん、お疲れさまでした。そしてありがとうございました。



11月からは、サロンのボランティア、末田圭治さんがホームページの制作を引き継ぐことになりました。どうぞよろしくお願ひします。（会報部）

今月も、勉強になるお話、興味深いお話が集まりました。そして、サロンから一歩出て交流された様子がよく伝わったかと思ひます。誘いあわせてのお出かけは楽しいものです。みなさんはどこへ行ってみたいですか。

市内の人気スポットと言へば「郷土の森」。プラネタリウムが今年リニューアルオープンしました。秋の夜空の主演アンドロメダとペルセウスは夫婦だそうですね。11月は目印になる星が少なくて見つけにくいのですが、最新のドーム内なら、二人をはっきり眺められます。眠ってしまいそうなほど快適なシートは個別にパネルが設置されていて、クイズに参加すれば目が覚めます。手をつないで座れるペア席もありますよ。さあ、だれと星座を探しに行きましょう。（岩城）



【編集】会報部会/和田、堤林、岩城、末田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>